

令和2年度 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)と課題

山形県立山形西高等学校

1 教育目標

本校は「嚶鳴精神」を基本的な信条としながら、次の目標を掲げて教育に当たる。

- | | |
|---------------------------------|-----------|
| (1) 真理を愛し、正しく判断する知性を養う。 | <知性を育てる> |
| (2) 自律的に思考し、責任をもって行動する態度を身につける。 | <徳性を育てる> |
| (3) 明るく清純な資質と、創造力ゆたかな個性を伸ばす。 | <個性を育てる> |
| (4) 健康なからだ、やさしく思いやりのあるところを育てる。 | <体と心を育てる> |

2 本年度の重点目標

西高の志教育～ 思いやりと志を持って山形が大好きな西高生を育てる

- 恕の教育 : 他人の立場に立って考えることのできる思いやりを持った生徒
- 志の教育 : 自分の夢を追うことが社会貢献につながるよう目指す生徒
- 郷土愛を育む教育 : 山形にいても山形を離れても常に郷土への愛を抱き続ける生徒

3 前年度の成果と課題

(1) 成果

- ① 授業改善に係る校内研修を3回実施し、研究授業は全教科で実施できた。
- ② 西高リケジョ・プロジェクト : 東北大学や山形大学と連携し理系進学のカリヤデザイン設計を支援できた。
- ③ ボランティア活動 : 地域住民の方々と意見交換を行い、地域のコミュニティーづくりに参画した。
社会福祉協議会との連携のもとに、冬期間は「スコップーズ雪かきボランティア」を学校周辺で実施した。

(2) 課題

- ① これからの時代に求められる資質・能力を身に付けるための「主体的・対話的で深い学び」実現に向けた授業改善
- ② 探究的な学びの推進とキャリア教育について更に研究を深める
- ③ 学校における働き方改革を見据えた業務および指導方法の見直し

領域	重点目標	評価項目・評価指標	自己評価	今年度の成果と課題	次年度への改善点	教職 評価 指標	学校関係者評価委員の 意見・要望
学校経営	1 教員としての使命感と綱紀の保持 2 業務の平準化と休みの保障 3 ゆとりある職場環境づくり	1 交通違反・事故等の違反行為や信用失墜行為の絶無と公金の適正な管理 2 時間外勤務時間80時間超の人数の削減 3 振替休日取得率100%の実施	B	1 全ての教員が綱紀保持に努めた。 2 時間外勤務80時間超は、前年度より減少し半数以下となった。 3 土曜講習そのものを大幅に縮小した。またその振替の取得率は、100%となった。	1 具体的事例を例示し、法令順守及び倫理意識のさらなる向上に努める。 2 働き方改革を踏まえ、勤務時間を意識した業務の見直しを全職員協力のもと徹底する。	B	1 コロナ禍の影響で事業等の変更がなされる中、適切に対応している。 2 コロナ禍で益々ゆとりのない中での指導には頭が下がる思いです。 3 次年度は今年度の経験を生かして進める準備をして欲しい。
学習指導・ 読書指導	1 綿密な年間指導計画のもと、各教科の授業時数の確保 2 質の高い授業を実践するための授業改善 3 進学型単位制の特徴を生かした教育課程の運用	1 年間出席率98%以上 2 各教科の研究授業を1回以上実施	B	1 2学期までの出席率は99.1%。前年度より向上。 2 3人グループによる授業参観を実施したが、実施方法については今後検討が必要。 3 今年度は「G-suite活用」「総合探究」「授業改善」の3回の研修会を実施。	1 ICTを活用した授業展開について更に研修を行う。 2 探究的な学習、主体的・対話的で深い学びのための指導法の研究を学校全体で組織的に推進していく。 3 現行教育課程の見直しを引き続き行う。	B	1 GIGAスクールを経験した生徒が入学してくる。高校での学びのスタイルをどのようにしていくかが重要。 2 課題の有無にかかわらず自分で構築して家庭学習ができるような生徒を育てて欲しい。
生徒指導・ 保健 安全 指導	1 部活動や校友会活動等自主的自律的な集団活動の充実 2 基本的生活習慣の確立と規範意識の育成 3 体験活動や奉仕活動等への積極的な参加を推進 4 「いのち」の教育を推進し、安心・安全な教育環境の整備	1 諸活動を活性化し、自主性や自治能力を高める 2 内外でのあいさつ運動の推奨継続と下校時刻18:30の徹底 3 地域貢献ボランティア等を広報・推進 4 安否確認システムを使い勝手の良いものに変更	B	1 各活動において、校友会を中心に組織的、創造的に運営できた。 2 校地内の登下校時のあいさつ運動については自発的なものとはなっていない。 3 インターハイ、全国高総文祭は中止となったが、各部でできる活動を工夫して実践できた。	1 部活動等の活躍は次年度期待できる。 2 SNS等の使用に関する情報モラル教育を充実させる。 3 コロナウイルス感染症対策を行いながらなんとか充実した諸活動を工夫して実施したい。	B	1 毎日忙しい生活の中、また新型コロナウイルス感染症対策への対応の中、ボランティア活動に参加していることは素晴らしいことだと思う。 2 生徒会役員を中心とした生徒自身によるマネジメント力に期待したい。

領域	重点目標	評価項目・評価指標	自己評価	今年度の成果と課題	次年度への改善点	教職 評価	学校関係者評価委員の 意見・要望
進路 指導	1 適性を見極め、向上心を持った進路希望の確立 2 生徒の主体的学習を促し、目標達成に必要な学力の定着を図る 3 難関に挑戦する生徒の育成 4 教科指導法と入試情報の収集と研究	1 生徒が主体的に進路研究にあたれるよう、機会設定や情報提供を工夫する 2 総合的な探究の時間での取組を通し、社会的な知識を養い、論理的思考力を醸成する 3 進学指導重点校学力向上事業および山形西高三カ年進路指導計画をもとに、上位集団の育成を目指す	C	1 西高リケジョ・プロジェクトにおいて、山形大学理学部訪問及び東北大学の研究室オンライン交流を行った。 2 探究型学習課題研究発表会を1, 2年次とも2月に実施した。 3 難関大への志願者数、合格者数ともに低迷しており、意欲ある上位集団の育成が急務である。	1 高大接続改革に対応するための学習のあり方を研究し実践する。 2 キャリア教育の充実について更に具体的な方策を構築する。 3 Google Classroomなどの活用について研修等でのスキルアップが必要。	B	1 生徒自らが生きる力を身につけることも大切であろう。 2 高大の連携については様々な機会が考えられるであろう。
家庭・ 地域との 連携	1 地域やPTA等との連携の強化と事業の推進 2 地域に開かれた、信頼される学校づくり	1 PTA総会出席率80%以上 2 学校評議員会や学校評価の実施、HP等での情報の公開を通じての開かれた学校づくり 3 ボランティア活動では、地域町内会、民生委員、社会福祉協議会などの諸団体と協力し、様々な立場の方々と接しながら人間としても成長できるように指導する。	C	1 PTA総会についてはコロナウイルス感染症対策のため全校一斉の集合形式での開催はできなかった。 2 学校評議員会や学校評価については、紙上での開催となったが今後の学校運営に大切な示唆をいただいた。 3 ボランティア活動もコロナウイルス感染症対策に対応しながらの限定された活動となった。	1 4月当初のPTA評議員会を前年度2月の評議員会に吸収統合させ、運営の効率化を図る。 2 生徒の多方面にわたる様々な活動の様子については、今年度同様ホームページで伝えていきたい。 3 地域の方々との意見交換を継続し、地域と一体となった活動を一層進める。	B	1 地域ボランティア活動「あいらぶ」末広について、令和2年度は中止となったが、軌道に乗ってきているので次年度開催できれば協力お願いしたい。

学校関係者評価 を踏まえた改善点	1 社会に求められる資質・能力を身に付けるための「主体的・対話的で深い学び」実現に向けた授業改善 2 探究的な学びの推進とキャリア教育について更に研究を深める 3 ICT活用能力の向上と効果的な授業展開のための研修
---------------------	---